

協和工業

# タイ新工場建設再開

## 車向けジヨイント生産

【名古屋】協和工業（愛知県大府市、鬼頭佑治社長、0562・47・1241）は、建設を延期していたタイのユニバーサルジョイント新工場を2015年2月をめどに稼働する。当初は13年末の稼働予定だったが、11年にタイで発生した大規模洪水後の工場建設ラッシュを避けて延期していた。建設工事の落ち着きや受注増加を受け、計画を再開する。タイでの売上高は16年に13年比倍増の12億円程度を目指す。

協和工業が51%出資する合弁会社のタイ協和GMB（プラーンプリ県）は賃借工場で手狭になっている。このため同じ

「304工業団地」敷地内に建設する新工場へ移転・拡張する。約2万5000平方メートルの用地を購入し、建設に着手した。



総投資額は6億円程度を見込み、共同出資先のGMBと資金を出し合う。

タイ新工場の完成予想図

現地での月産能力は20万本と現状の2倍近くに高まる。現地調達を進める日系自動車メーカーなどからの受注に因應する。

ユニバーサルジョイントは自動車や農機のステアリング機構などに用いる継ぎ手部品。日本で冷間鍛造した加工部品をタイに輸出し、現地で機械加工や組み立てをして、出荷する。共同出資するGMBのペアリング用生

産設備も整備して、品質向上やリードタイム短縮につなげる。

現地では営業面でも両社の協力関係を強化する。例えばGMBのサスペンション部品を協和工業と取引関係のある自動車メーカーに提案するなどして受注獲得を狙う。